



# かっこう

仙台市教育センター通信

第 3 号 H28. 6. 7

http://www.sendai-c.ed.jp/

TEL 022-251-7441 FAX 022-251-7486

6 月に入りました。小学校は野外活動や修学旅行などの校外学習、中学校は中総体に向けて気持ちを高めていることと思います。

**【研修の追加募集について】**5月31日にグループウェアでお知らせしました、**研修の再申込み**を受け付けています。募集研修の名称と内容を確認の上、センターHPの「様式」→「仙台市教育センター研修受講者届」をダウンロードし、必要事項を記入してお申し込みください。なお、追加募集の締切りは **6月14日(火)** となっています。

## 【授業づくり訪問が始まります】

6月13日から1月30日まで、91校で授業づくり訪問が行われます。授業づくり訪問のねらいは、次の二つとなります。

- ◎ 一人一人の授業力の向上
- ◎ 全員での校内研究の推進



そして、授業づくりの視点も、昨年度に引き続き「見通す・振り返る」学習活動を位置付けた授業づくりとなります。授業の導入で目標（めあて）を示す活動や、授業の終末に学習したことを振り返る活動など、各学校の児童生徒の実態に応じて活動を工夫し、児童生徒の思考力・判断力・表現力等を育ててほしいと思います。そして、先生方が授業を振り返る場合は、児童生徒の姿（実態）を基に、「児童生徒の変容をもって振り返る」ことが大切になります。

そのため、訪問1では、児童生徒の実態に基づいた研究の視点となる提案や課題を全員で共有しましょう。訪問2では、授業実践の成果と課題及び改善策を明確にし、授業者だけでなく一人一人の今後の授業改善へ、そして、全員で取り組む校内研究の継続化・活性化へとつなげましょう。授業づくり訪問が有意義な時間となるよう、よろしくお願いいたします。

## 【いじめ対応等相談教職員支援室へ】

ほっ・おととスペースが



4月から教職員向けに始まった相談窓口です。ちょっとした困りごと、声に出してみると解決の糸口が見つかることがあります。どんなことも気軽に相談してください。二人の相談員が「えがおで」お待ちしております。

＜相談の内容と方法＞

- ・相談内容… どんなことでも、職場の人間関係、教科指導法、学級づくり、保護者との接し方 等々
- ・相談方法… 電話で 090-6853-9917  
090-6853-9918

(正午から午後6時まで。)

メールで [i-soudan@sendai-c.ed.jp](mailto:i-soudan@sendai-c.ed.jp)

(24時間受け付けます。返信は相談時間中に行います。)

面談で 教育センター1階相談室 他

面談の場合は、事前に上記専用電話またはメールで予約していただきますが、研修終了後など、予約なしの面談も可能です。大きな研修の後など、1階のロビーに相談員が待機することもあります。見つからない場合は、研修会担当の指導主事にお声掛けください。

## 【総合的な学習の時間通信を発行します】

教育センターでは、総合的な学習の時間通信をHPに掲載し、授業の工夫・改善に向けた情報を発信していきます。総合的な学習の時間で行う、様々な教科で培った知識や技能を活用する教科横断的な学びは、実社会で役立つ汎用的能力を育てていく上で大きな役割を果たします。



学習を始める前に、以下の三つの点を確認してみてください。

- 1) 総合的な学習の時間の目標
- 2) 育てようとする資質や能力及び態度
- 3) 内容(ふさわしい学習課題か)

詳細は、センターHP『総合的な学習の時間』をリンクし、通信「探究・協同」を御覧ください。随時、更新する予定です。

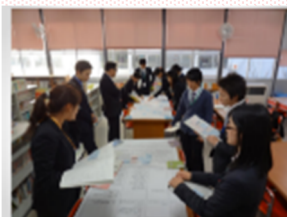


## 【年次研修 ~ライフステージに応じた学びを~】

フレッシュ先生研修(1・2・4年次)に続き、他の年次研修(5年次ブロック・10年経験者・ミドルリーダー研修)もスタートしました。これから、3年次研修が今月24日(金)、充実期研修と発展期研修が7月に始まります。

「1年次の時は、5年次の先生方がとても頼もしく感じられたのを覚えています。今、自分が5年次となり、そのような存在になれるよう、自身も学びながら、先輩として恥ずかしくない教員になりたいと思います。久しぶりに同期の先生方と会えて、さらにやる気と元気が出ました。(5年次ブロック研修受講者の感想から)」

「16年目にあたり、慣れ・過信から意識低下を招くお話をいただき、もう一度気を引き締めなくては感じました。ミドルリーダーとして、校内での立ち位置を考え、言葉にして行動することが大切だと思いました。(ミドルリーダー研修受講者の感想から)」



教師としてライフステージにふさわしい自負と学びをもちとること。これからも、様々な研修を通して、先生方を応援していきたいと考えています。

過年度の5年次ブロック研修から



## ちょっと一息【道徳コーナー】No.5 道徳の時間の指導過程を考える

まず、中心発問から!

ねらい・児童生徒の実態・資料から、道徳的価値の気付きや考えを引き出すために、授業の中心となる発問や展開について、どんな指導をしたら効果的なのかを検討する。その後、さらに自覚を深めるための導入・終末の指導を考える。

【教育センターはOJTで学び続ける教師を応援します!】